

令和2年度 具志川高等学校 芸術 書道Ⅱ シラバス
教科担当者 崎浜 かおり

学期	月	配当時間	単元	教材及び作品名	学習内容と留意点
一学期	4	2	篆書	毛公鼎	・青銅器に鋳込まれた「金文」を、最古の書体として鑑賞しつつ臨書。
		2	隸書	禮器碑	・法帖を鑑賞・臨書し、隸書の伸びやかな波磔を習得。
	5	2	草書	十七帖	・線質の力強さ、文字の大小や傾きなどを鑑賞し構成に注意しながら臨書。
	5	2	漢字 創作①	漢字創作	・四字熟語を使って、漢字創作。
	6	8	創作②	半切作品	・これまでに学んだ全書体(書Ⅰも含む)を参考に、半切作品にまとめる。
	5	2	創作③		・漢詩や近代詩などを選択し、半切サイズに創作。
	7	2	実用書	暑中見舞い	・暑中見舞いの書き方を学ぶ。
夏休みの課題					・夏休み明け、期限内に提出した作品は、公募展などに出展。
二学期	9	6	仮名の書	万葉仮名 変体仮名	・万葉仮名及び変体仮名の区別を理解し、読めるようにする。
	10	4 4		連綿 ちらし書き	・連綿のリズムを習得。 ・全体構成を理解し、空間処理を生かした手法を学ぶ。
	11	2 2	創作Ⅱ	俳句 短歌	・松尾芭蕉の句より、仮名文字を使って創作。 ・百人一首より、仮名文字を使って創作。
	5 12	12	創作Ⅲ	うちわ作成	・これまでに学んだ全書体を踏まえ、自ら選んだ題材を構成も考慮しながら「うちわ」にまとめる。
三学期	1	2	水墨画	山水画	・より高度な創作作品へと発展させるため墨色の調整と遠近法を学ぶ。
	5	8	創作Ⅲ	自由課題	・自ら選んだ題材を、自由な発想で作品を制作。
	3	2 4	実用書	細字 硬筆	・目的や形式に応じ、実用的な書を学ぶ。 (宛名書きや封書の書き方など)